

JAをもっと身近に感じて欲しい

MieNaka

みえのまんなか

2024
秋
vol.13

magazine

いろいろキノコの炊き込みご飯

- 材料 (6人分)
- 米 ……450g
 - ヒラタケ ……120g
 - マイタケ ……80g
 - ハナビラタケ ……60g
 - マッシュルーム ……4個
 - だし汁
 - かつおだし ……350ml
 - しょうゆ ……35ml
 - みりん ……35ml
 - 料理酒 ……35ml

- 作り方
- ①ヒラタケ、マイタケ、ハナビラタケはほぐし、マッシュルームはスライスしておく。だし汁の材料を鍋に入れ一煮立ちさせ冷ましておく。
 - ②米をとぎ、ざるに20分あげておく。
 - ③炊飯器にだし汁を入れ、②の米とキノコ類を入れ20分浸し炊き上げる。
 - ④器に盛り付けて出来上がり。



お買い物500円ごとに美味ちゃんスタンプ1個
スタンプを集めて応募しよう!

JAグループ三重
ファーマーズマーケット

美味ちゃん
みんなの笑顔のまんなかプロジェクト

美味ちゃんスタンプキャンペーン2024

キャンペーン期間 2024年10月1日火～11月30日土

スタンプを5個集めて

A コース

クイジナート (RHB-1070J)
コードレス充電式
ハンドブレンダー
抽選で
20名様

スタンプを3個集めて

B コース

●JAみえきた
非常時持出米
(わかめごはん)

●JA鈴鹿
JA鈴鹿のもっちり
ラーメン2種
(徳川豚汁・しんじゆん)

●JA津安芸
至福の一杯
キューブ米

●JAみえなか
マコモタケ濃厚
ボークカレー2箱

●JA多気郡
えごま茶葉2種
(ほうじ茶ブレンド・緑茶ブレンド)

●JA伊勢
農協さんのお味噌汁

●JAいがふるさと
伊賀牛カレー(中辛)

7JA特産品詰め合わせセット
抽選で
50名様

*写真はイメージです。製品のデザインや仕様は変更することがあります。

応募の流れ

- STEP 1** キャンペーン期間中、直売所などの店頭で設置の応募用紙を持って対象店舗で買い物をします。
- STEP 2** ご精算後、お買い物500円ごとに美味ちゃんスタンプを1個押印します。
- STEP 3** スタンプがたまったら応募用紙に必要事項をご記入いただき、各店舗の応募箱へ投函します。
- STEP 4** キャンペーン終了後、応募者の中から厳正なる抽選を行います。
*賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

お問い合わせ

【キャンペーン事務局】
JA三重中央会 企画総務部 企画調整課
TEL 059-229-9006

【キャンペーンページURL】
<https://www.ja-miechuokai.or.jp/wp/?p=6880>

三重県内の対象店舗やキャンペーンの規約はこちらからご確認ください



農産物が 食卓に届くまで



スーパーや農産物直売所にはたくさんの農産物が並んでいます。その中には、JAみえなか管内で生産されているものも多くあります。畑から食卓まで、農産物がどうやって運ばれてきているのか、知ってみませんか？

SNSで最新情報を発信中！



WEBサイト



次回の発行は1月の予定です。お楽しみに!



農産物が食卓に届くまで

私たちの生活に欠かせない食事。スーパーや農産物直売所などに行くと、いつでも新鮮な農産物がたくさん並んでいます。お店に並ぶまでの過程を想像したことはありますか？今回は普段食べている農産物がどうやって運ばれてくるのかを紹介します。

イチゴの手入れ作業



STEP 1 畑等で栽培

生産者が農産物の種や苗を植え、肥料を与えたり、病害虫の対策をしたりしながらお世話をします。

天候に左右されるため、毎年条件が違って皆さんとても苦労されています。



イチジク生育巡回

ブロッコリー畑

STEP 2 収穫・出荷準備

大きく育った農産物を収穫し、事前に統一した大きさや基準に合わせて袋や箱に詰めます。基準に沿った高品質な農産物の生産に務めています。

キャベツ目ぞろえ会



米収穫(稲刈り)



プロックリー畑



◎ 見てみてね!

JAみえなかのInstagramでは収穫や出荷、選果の様子をリアル動画で紹介しています!



STEP 3 出荷

生産者が準備した農産物を出荷します。品目や出荷の形態によって異なりますが、JAの共同選果場や集荷場へ持ち込まれます。また、農産物直売所の場合は、生産者が独自の基準によって商品づくりをし、直接売り場へ陳列しています。

ストック出荷



タマネギの集荷



一志じねんじよの選果



トマトの選果



ミカンの選果

市場ルート

共同選果場・集荷場

JAの共同選果場や集荷場は、JAの生産者部会の部会員等が生産した農産物をまとめて出荷するための施設です。品質や出荷物を統一できることにより、有利に販売することができるほか、出荷に関する煩雑な処理や市場とのやり取りをJAが担うことができます。生産者から出荷されてきた農産物は第三者(JA職員)の目で、②で定めた基準に沿っているか確認し、出荷します。また、共同選果場では梨やミカン、トマトなどを等級や大きさで仕分ける選果機もあり、生産者が一緒に使うことができるのもメリット。ここで仕分けて箱詰めされ、市場に出荷されます。



市場ルート

共同選果場・集荷場

JAの共同選果場や集荷場は、JAの生産者部会の部会員等が生産した農産物をまとめて出荷するための施設です。品質や出荷物を統一できることにより、有利に販売することができるほか、出荷に関する煩雑な処理や市場とのやり取りをJAが担うことができます。生産者から出荷されてきた農産物は第三者(JA職員)の目で、②で定めた基準に沿っているか確認し、出荷します。また、共同選果場では梨やミカン、トマトなどを等級や大きさで仕分ける選果機もあり、生産者が一緒に使うことができるのもメリット。ここで仕分けて箱詰めされ、市場に出荷されます。

市場から量販店などへ

JAで集荷した農産物は、青果市場などへ運び込まれます。市場には日本国内はもちろん、海外からも様々な農産物などが運ばれてきます。出荷された農産物は、地域のスーパーや八百屋などの量販店へ搬送され、そのお店のこだわりによって陳列されます。

たくさんの青果物が卸売市場に集まります



三重県地方卸売市場



たくさんの荷物があるわ!



産直ルート

農産物直売所

出荷登録を行っている生産者が、自ら袋詰めした農産物を直接店内に持ち込み、店先へ陳列します。栽培する品目や、パッケージ、POPなど、すべて生産者が自らの方針で工夫して出荷しているのも直売所の魅力の1つ。開店時間中に出荷に来る生産者もいるので、消費者と直接交流できる場にもなっています。

直接届くからより新鮮なんだわ!



色々な人たちの手によって届けられているんだわ。

STEP 4 食卓へ

スーパーや農産物直売所に並べられた農産物は私たち消費者が購入し、各家庭の食卓に並べられます。



広げよう「国消国産」

日本は今、国内で消費する食料の約6割を輸入に頼っています。しかし、もしも今後輸入が難しい状況になった場合、食料が不足してしまいます。私たちの食べ物は、自然の力を活かし、多くの時間をかけて作られていて、足りなくなったからと言ってすぐに作ることはできません。そこで重要になってくるのが「国消国産」の考え方です。「私たちの国で消費する食べ物は、できるだけこの国で生産する」という考え方の「国消国産」。JAグループでは2020年からこの考え方を提唱しています。地域で生産した農畜産物を地域で消費するという「地産地消」を積み重ねていくと、最終的に「国消国産」に繋がっていきます。農産物直売所を利用したり、スーパーで地元の野菜や国産のものを選んだりするように意識することが、日本の農業を応援し、「食」を未来に繋げていくことになるのです。日々の買い物で、地産地消や国消国産を意識してみませんか？

一人ひとりの小さな行動も、みんなで行えば大きな力になるんだわ。



新しい食習慣「国産DAY」

JAグループでは食や農について、もっと親しみやすく、わかりやすくするために、「国消国産」につながる新しい食習慣「国産DAY」として、JAグループサポーターである林修先生による解説動画を作成し、情報発信しています。ぜひご覧ください。

国産DAY

国産DAY 特設ページ

